

令和 6 年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区学習効果測定 結果の分析

- 問題の内容別正答率では、6年生は9項目中5項目において目標値を上回った。
- 領域別正答率では、6年生は3領域中2領域において目標値を上回った。
- 観点別正答率では、6年生は3観点中1観点において目標値を上回った。

領域別正答率

	全体	聞くこと	読むこと	書くこと
目標値	73.0	73.2	75.0	72.0
校内平均正答率	71.6	78.6	76.3	60.6
ポイント差	▼1.4	△5.4	△1.3	▼11.5

【観点別正答率の分析】

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を上回った。 単語や表現の意味理解やアルファベットの読み、単語の読みにおいては目標値を上回る結果となった。特に単語や表現の意味理解が目標値を大きく上回った。 しかし、アルファベットを書くことについては全問目標値を下回った。	目標値を下回った。 会話全体の理解は目標値を上回る正答率であった。特に今日の持ち物についての問題は大きく上回った。しかし英文の完成においては目標値を下回り、対話の流れから語句や表現を判断し書くことが主な課題となった。	目標値を下回った。 英作文においてはあこがれの人について全 4 文書く問題であり、4 問中 3 問が活用問題ではあったが、目標値 70～85%のところ正答率が 50%以下と大きく下回った。

課題〈今回の調査結果から〉

- 日頃の授業で、アルファベットを書く練習（発音している音声を聞いて書く）を取り入れる。
- 対話の流れから語句や表現を判断し書く問題を取り入れて取り組むようにする。
- 日頃の授業で、例文を参考にしながら身近な人について簡単な語句や基本的な表現を用いて英作文をすることを取り入れていくようにする。